

刺調理方法によるものでした。懐かしい母校の思い出や、それぞれの近況を語りあつたり、本部事務局長の手品を楽しみ、校歌、応援歌を大合唱して山口県支部のさらなる団結を誓い合いました。最後になりましたが、江津工業高校の発展を祈念致しますと共に支部活動のご支援をよろしくお願致します。



第42回 山口県支部総会 (2003.2.16)

江津市役所支部近況

江津市役所支部長

藤井 進

(昭和41年工业化卒)

私が市役所勤務を始めた、昭和四十七年は、七月に大雨で、江川周辺は大水害となり、市をあげての対応に建設課など事業する課は大変な活躍でした。その課員の大半は江工の先輩である技術屋さん

でした。何かしら元気があり、大声で話される為、高校時代の応援歌練習と同じ雰囲気です。しかし市役所支部総会に出席した後は、気持ちが変わった事を思い出します。懇親会が始まって、五分も経たないのに、新入りの私達の所へやってくる。席に座つたら、初めから最後まで黙々と飲む人等、個性の強い人達ばかりでした。翌日、職場で挨拶すると、まだ目は真っ赤、酒の匂いがプンプンする人ばかりだった事を、懐かしく思い出します。

先輩方が次々と去られ、平成十五年四月、工友会(教職員OB会)の先生七名にご出席いただき(会長の盆子原先生は入院中でしたが挨拶にご出席)楽しい時を過ごした支部総会で支部長を引き継ぐ事になりました。

現在会員は四十二名です。市役所、本庁舎内では平成四年卒を最後に十年以上、新入生が無くて少しさみしい思いをしています。江津市は本年十月一日に桜江町との合併を予定しております。小規模な行政単位では今後、今以上に多様化する行政ニーズに対応した財政運営が困難になる事が予想される事を受けて、国調人口江津市二万五千七百七十三人と、桜江町三千六百四人の合計二万九千三百七十七人の江津市となります。

現在私達両市町の職員は、合併協議会で決定された方向を一つ一つ細部の調整をしております。やはり回数が増えるものは、税、使用料などの住民負担に伴うものです。この桜江町役場に六名の卒業生がおられ、新会員として迎える事

となり、今から楽しみに待っています。本年江津市は市制五十周年も迎えます。支部会員一同微力ながらこれを支えて行く所存です。結びに、江工会会員の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。



平成15年度 江津市役所支部総会 (2003.4.23)

天気のこと

弥栄支部長

栗栖卓三

(昭和52年電卒)

昨年は冷たい梅雨、暖か過ぎる秋と天候が偏りがちで、農作物にとっては好悪両面の影響があったようです。これを単なる天候不順と片づけて良いものでしょうか。私の小さい頃には、冬には最低でも三十センチの雪が積もり、子供の長靴には雪が入るので、腕抜きを付け、登校時には、通学路を親が雪踏みをしていただいたのを思い出します。



平成15年 弥栄支部納涼懇親会 (2003.8)

また、夏は夏で日中は太陽がキラキラ降り注ぎ、午後には必ず夕立が降り、雨粒が迫ってくるのを逃れて必死で家に帰ったこともありました。それにしても、近頃は夕立がめつたに降らなくなつたなと思うのは私だけでしょうか。子供の頃の記憶ですからあいまいなところもあるかも知れませんが、当時の天気はともメリハリがあつたような気がします。

二十数年たった今、あの頃の記憶にある天気と、今感じる天気との差は何なのでしょう。地球温暖化のせいでしょうか。それとも感じる自分自身が変わつたせいでしょうか。.....

さて、昨年は縁あって、五月に行われた江工会総会に出席させていただきました。各支部の活動内容や参加人員など色々な事を知ることができました。驚いたのは奨学資金制度があつたことです。まったく知りませんでした。諸先輩方の知恵と努力を改めて感じることができました。

とができました。平成十五年はジェントルマンの部かと意気込んでおりましたが、残念ながら他の大会の日程と重なり、選手の都合がつかず、参加することができませんでした。しかし、八月には納涼懇親会を催し家族連れで参加していただき、生ビールを酌み交わしたり、花火をあげたりしながら楽しい夕べを過ごし、会員の親睦を深めました。

工友会総会並びに 研修旅行に参加して

工友会だより



第20回 工友会総会 (2003.9.27)

江津に住んでいながら、なかなか工友会(江津工業高校教職員OB会)に参加する機会が無く、いつも声を掛けていただいたり、資料を送っていただいている平田先生や盆子原先生にも申し訳なく思っていました。今回思い切つて参加することにしました。九月二十七日八時三十分、江工前を大和観光マイクロバスで出

進路報告

やった!!内定100%

進路指導部 佐々木 文人

高校新卒の雇用環境が過去最悪の状況の中、今年度の就職戦線がスタートしました。求人状況は製造業が伸びているものの建設業は半減しています。各企業とも採用抑制や、大卒の優先、パートや業務委託の比重拡大などが要因となり特に県内就職は厳しいものがありました。

進路状況

	本年度	昨年度
	110名	104名
就職者数	71名	60名
進学者数	39名	42名
未定者数	0名	2名
内定率	100%	96.8%

本校においても厳しい対応をせまられたが、指定校求人確保、インターネッ

ト求人有効活用、ハローワークとの連携強化など求人情報の資料収集に全力を

尽くした結果、十二月末において就職希望者全員の内定を得ることが出来ました。なかでも本校の先輩が社長、所長、人事担当などの関係で求人をお願いいただき、内定した

発。今日の最終目的地、海潮温泉に向かいました。久しぶりにお会いする先生ばかりで、懐かしく勤務当時を思い出しました。会員の近況報告があり、和やかに車中を楽しみました。

昼前に「鬼の舌震」に到着。二の幕ぶるが地名の由来とのこと（出雲風土記）。紅葉には少し早かったけれど、その季節にはきつとすばらしい散策が楽しめるのでした。

仁多の「おろちろプ橋」で仁多の昼食を頂いた後、奥出雲たたら御三家の一つ櫻井家の歴史を展示する可部屋集館を見学。かつてこの奥出雲で松江藩の保護もいた鉄師の繁栄が偲ばれました。陽が落ちる頃、海潮温泉仁井屋

企業が九社あり、先輩の有り難さを噛みしめています。

就職内定先(順不同)

(県内)

朝日鉄工・石田工務店・オオサ電子・大田通信・小笠原建築設計事務所・企業警備保障・ケイ測量・江津NPサービス・佐々岡建築・住創・シバオ・島根合板浜田針葉樹・石東スズキ・ダン環境設備・ツチヨシ中子工場・トップ金属・西日本海合板・日本ケーブルシステム・浜田マルキ・マルキ設備・濱松建築・広島アルミニウム大田・双葉工業・平和金属工業・松浦工務店・マルハマ食品・瑞穂工業・YKKAP浜田

(県外)

石田エンジニアリング・石原工業・イズミフードサービス・イトー・イトキン・岡山県貨物・王将フードサービス・音戸工作所・キレックス・キョウラク・久我山工房・國原組・神戸製鋼所・合同産業・グローリー商事・三建建設・サンテクノ・新日鐵広畑・西都建設・神鋼電機豊橋・ジョイプラザ・シンヨーエーブイセンター・千代田電気・常石造船・東京舞台照明・トヨタ自動車・広島アルミニウム・ビューティ加藤・日立ビルサービ

に到着。今日の宿は、山根先生昭和37年〜43年江津工業高校英語科教諭のお宅。夜、江友会総会が行なわれ、盆子原工友会会長の挨拶、木下校長先生の挨拶（江津工業高校の現況報告等）があり、議題も原案通り承認。引き続き懇親会に入り、盆子原先生の銭太鼓や恒例となっている佐々木一郎先生の手品は去年より持ちネタも増え

進学先(順不同)

(4年制大学)

崇城大学・東亜大学・広島経済大学・広島国際学院大学・美作大学（短期大学・高専）
山口短大・山口芸術短大・ポリテク島根・松江高専（編入）
他専門学校
(平成十六年一月現在)

体育祭

生徒指導部

『三軍奮闘』をテーマに掲げて十月四日体育祭が開催されました。昨年から三科対抗で競いあい、前半を終えて総合電気科が一步リードしており、二連覇がかなうかに見えましたが後半、機械科が健闘して総合得点でわずかに三科の差をもつて優勝しました。機械科の優勝は実に、十二年ぶりのことです。

結果は次の通りです。
一 総合部
優勝 機械科

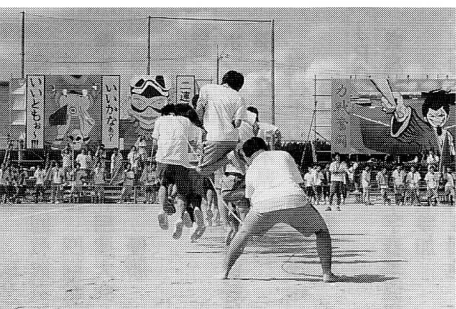
たとのことで、あざやかなお手並みを披露され、会も大いに盛り上がりました。心温まるお持て成しで山の幸を頂き、海潮温泉の湯に浸っていると、心なしか若がえったような（??）。
九月二十八日（日）仁井屋さんの御見送りを受けて、松江の県立美術館に向けて出発。宍道湖畔で記念撮影後、印象派の画家「モネ

展」を鑑賞。こんなにたくさん作品を一度に見られるとは。素晴らしい時間を過ごすことができました。初参加にも拘らず、リラックスしたとても楽しい二日間を過ごさせていただきました。最後になりましたが、幹事の先生方には大変お世話になり、有り難うございました。
(江津市在住 田中恵美子記)

- 二 総合電気科
三位 建築科
- 二 応援合戦の部
一位 総合電気科
二位 機械科
三位 建築科
- 三 テコロレーションの部
一位 建築科
二位 機械科
三位 総合電気科
- 四 綱引きの部
一位 機械科
二位 総合電気科
三位 建築科
- 五 色別対抗リレーの部
一位 機械科
二位 総合電気科
三位 建築科



入場行進



ギネスに挑戦(長縄跳び)



色別対抗リレー

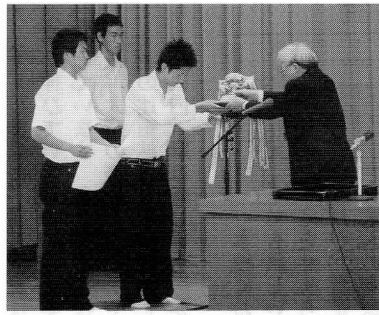
部 活 動

生徒指導部

野球部

春季中国大会地区予選
一回戦 5-6 津和野
全国高校選手権島根大会
一回戦 0-8 松江農林
秋季中国大会地区予選
一回戦 2-10 邇摩

県高校総体



県高校総体報告会 (2003.6)

陸上部

各種目とも予選通過ならず

水泳部

男子200m平泳ぎ
2位 (片山)
男子200m個人メドレー
2位 (片山)

ボート部

男子クオッドル 優勝
男子ダブルスカル
3位 (徳田、本山)
男子シングルスカル
3位 (佐々木)

弓道部

男子団体戦 準優勝
決勝 60射44中
(稗田・盆子原・岡本・仲田・森脇・長谷・浜崎)
男子個人戦 ベスト6
(稗田) 12射10中

サッカー部

一回戦 2-2 安来
(PK 4-2)

レスリング部

フリースタイル 69kg級
3位 (平井)

ワンダーフォーゲル部

オープン参加

中国高校選手権

ソフトテニス部 (松江市)

男子団体戦

一回戦 3-0 米子高専
二回戦 1-2 倉敷商業
男子個人戦 一回戦敗退

水泳部 (松江市)

男子200m平泳ぎ
5位 (片山)

男子200m個人メドレー
4位 (片山)

ボート部 (福山市)
男子クオッドル 優勝
(奥山、浜岡、藤田、藤井、本藤)

伊藤

男子ダブルスカル

(徳田、本山) 予選敗退

弓道部 (米子市)

男子団体戦 準優勝

(稗田・盆子原・岡本・仲田・森脇・長谷・浜崎)
決勝トーナメント (20射)
一回戦 16-13 広島市工業
二回戦 14-13 八頭

準決勝

15-14 倉吉西
決勝 12-19 広島県工業

男子個人選

予選敗退
(盆子原) 8射5中

全国高校総体 (長崎県)

ボート部

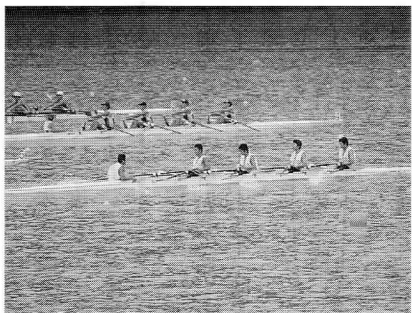
男子クオッドル
準々決勝敗退

(奥山・浜岡・藤田・藤井・伊藤)

静岡国体 (天竜市)

ボート部

男子クオッドル
予選敗者復活戦 敗退



静岡国体 (手前・江工クルー)

レスリング部 (広島市)

フリースタイル 74kg級

予選敗退 (平井)

中国高校新人 (玉野市)

弓道部

男子団体戦 予選24射12中
敗退 (長谷・浜崎・中本・遠藤)

男子個人戦

予選8射5中
敗退 (長谷)

放送部

県高校放送コンテスト

地区大会出場

写真部

島根県高等学校写真展

奨励賞 (桐田・岡田)

入選 (桐田、大原)

情報電子部

高校生ロボット相撲中国大会

中国04総体 強化重点校

ボート部顧問 沖田 照晃

江津工業高校ボート部は、昭和三十四年に創部され今年で四十六年になります。その間全国大会で多くの実績を残しています。

島根県で開催される中国04総体に向けて平成十三年より重点校に指定され好成績を残すため目標に向かって進んでいます。その強化内容は年間三、五回の県外合宿や県外試合、そして全日本コーチを呼んでのアドバイザー研修会、指導者の県外視察です。

現在の江工ボート部の状況は男子部員十三名で活動しており、年間を通じて「強く激しく」「江工魂」を目標に活動を続けています。平成十五年の成績は男子四人漕ぎにおいて中国大会優勝、全国総体

自立型の部 三回戦敗退

(広島市)

ラジコン型の部 四回戦敗退

県高校生ロボット相撲大会

ラジコン型の部 優勝

(森下・坂根)

自動車部

ホンダエコノパワー燃費競技全国大会 (栃木県 茂木)

高校生の部 14位 635km/リットル

(湯浅・竹内) チーム

JRC

県高校青少年赤十字春季協議会

4名参加

江津保育所 訪問4回他

生活科学部

高文連生活科学部門研修会

研究発表会参加

展示出品

国体へ出場しています。平成十六年三月には新チームのクルーが全国高校選抜大会に出場します。この大会は全国総体の前哨戦になり春先の力を試す大会です。上位入賞を目指し全国総体に繋げていきたいと思ひます。

最後になりましたが平成十一年に江津工業ボート部艇庫を卒業生皆様のご寄付により建設していただき有難うございました。その御厚意に感謝し中国04総体に向けて最善の努力を尽くすことを誓ひます。ご声援のほどよろしくお願ひします。



ハイウェイフェスタ in 江津道路 エコカーレース

自動車部顧問 出雲 成人

江津市と浜田市を結ぶ、江津道路の開通を二週間後に控えた九月七日、江津道路開通記念イベント実行委員会と県教育委員会（特色ある教育支援事業）の支援のもと「エコカーレース」を開催しました。これは、江津工業高校と益田工業高校が共同で、過去の活動や各種大会に参加した経験を生かして企画、運営したものです。



エコカーレース（江工チーム）

このレースは、50ccのエンジンを搭載したオリジナルカーで「夢の燃費」を競うものです。

短期間の呼びかけに、地元チームの松江工専、益田工業、江津工業のほか、一般も含めて愛知、岡山、広島、山口、高知、福岡など県外からの申し込みがあり、全十六チームが参加する大会となりました。又、世界記録を持つ広島島のF

ANCY CAROLチームを招待して盛大な大会になりました。コースは、江津IC、浜田東ICを折り返し、江津西ICをゴールとした全長16・2km。スタートから最大勾配4%で始まる登り坂の多い、ほぼ直線のコース。気温34℃と残暑の厳しい中、小排気量のエンジンとドライバードライバーにとっては、かなり厳しい条件となりました。

「夢の燃費」を求めるチームもあれば、供用前の高速道路を走行することに喜びを感じながらレースを楽しむチームもみられ、肩肘張らずに参加したチームの笑顔は、大会の雰囲気をおおいに和ませ、

印象的でした。成績結果は、次の通りです。優勝、FANCY CAROL (1399・4km/トヨタ) 二位、博多工業 (576・2km/トヨタ) 三位、江津工業 (526・4km/トヨタ) レース後、ドライバードライバーの北田満彦君は「登り坂の多い、難しいコースだった。スタートで、多くの観客の声援に緊張したが、高速道路の走行が楽しめた。」と語った。此の度のイベントを通して、多数の方々との交流できたことや、貴重な体験をさせて頂いたことに深く感謝致します。今後の活動に生かしたいと思えます。

平成十六年度 全国高等学校総合体育大会

中国04総体の成功に向けて

高校生一人一役活動について

一人一役活動担当 佐々木 敏博

平成十六年度全国高等学校総合体育大会（愛称：中国04総体）が「君の輝く一瞬が、今、伝説となる」のスローガンのもと島根県を主会場に中国5県で開催されます。ご当地江津市では水球競技が、お隣り浜田市ではソフトボール男子が実施されます。

これらの大会を地元の高校生が積極的に支援するため「一人一役」を合い言葉に、全国から参加する選手や大会関係者のみなさんを温かく迎え、気持ちよく競技していただけるよう、さまざまな活動を行なっています。江津工業高校は浜田地区高校

栽培で、水球競技ボスターへの応募、リハール大会での各係、地元イベント（江の川祭り、江津道路開通記念行事）やPRキャラバン隊として市町村役場や大型店舗での広報活動、全県規模での55日前、30日前推進大会への参加、市内事業所等へのポスター掲示の依頼など一生懸命に活動してきました。各地区主催の100日前大会、50日前大会も予定されています。

これからは、式典や、競技の補助員、運営補助員など、大会そのものに直接的、間接的に関わる重要な役割分担が具体的に決定し、それぞれ習熟のための練習会や講習会が催されます。さまざまな触れ合いを通して、来県のみなさんが、「良い大会だったな」、「江津は良いとこだな」、「浜田も良いとこだな」と、爽やかな印象をもって帰られるよう、一人ひとりが頑張りたいものです。

出雲空港設置総合案内所

オロチカウンター製作について

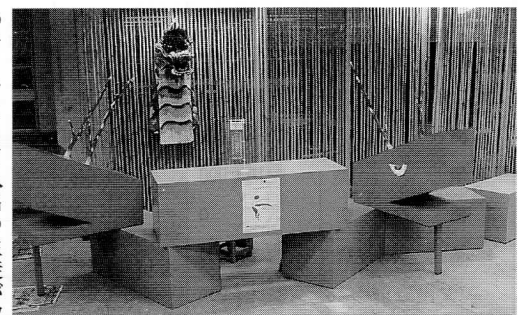
建築科 杉井 和太

04総体一人一役活動の一環として案内所製作依頼が舞い込んだのが平成十四年の九月、松江工業高校が松江駅、出雲工業高校は出雲駅、益田工業高校は石見空港、本校は出雲空港に設置が決まり、早速現場へ出向いて場所の選定や空港側の要望を確認、いろいろな制約のもとに推進室から、「島根県らしさ」を表現する。「生徒が製作」する。と言う条件を与えられた。



一人一役活動（江の川祭り）

そこで建築科三年生の課題研究



総合案内所（オロチカウンター）

のテーマとして八名の生徒が取り組むことになった。出雲神話の中から全国的にも有名な八岐の大蛇（オロチ）を題材にする事によって島根県らしさがだせれるのではないかとという結論に達し、オロチカウンターと命名して図面を作成、材料の選定や加工方法などを議論して製作に取りかかった。

全体像としては、箱型の蛇胴や蛇の頭、尾など九つのパーツを組み合わせることによってオロチを表現し、背面は竹を使用して三つのついたてを造り、横断幕や蛇頭で目隠しの役割を果たすことにした。パーツにしたのは、出雲空港までの運搬が容易であること、全体の形がいろいろな組み合わせで変えることができること等で、カウンターそのものは単純ではあるが色合いは派手にし、石見神楽の蛇頭を添えることによってリアリティーさをも表現した。現在は八割程度完成し、これからは細かい部分を仕上げ課題研究の発表に間に合わせる予定である。



彫 刻 家
木 彫 田 中 俊 晞
(工芸科昭和36年卒)

このコーナーでは
各界で活躍されてい
る卒業生を紹介しま
す。次回はあなたか
も……。

〔経 歴〕

昭和十七年(一九四二年)江津市嘉久志町に生まれる。

中学卒業後、好きな木彫の道を志すが、父親の意見で江津工業高校工芸科に入学する。在学中は、多々納利雄先生(現・斐川町在住)にその基礎を学ぶ。卒業(昭和三十六年)後、山陽パルプ(柳江津工場(現、日本製紙ケミカル株式会社))へ入社。

木彫への夢は年月を重ねるにつれ膨らみ、三十才を迎えた昭和四十八年から勤務を続けながら、長浜人形、石見神楽面師の安東三郎氏の指導を受ける。さらに米原雲海門下の彫刻家森本真象氏に師事して本格的な修行を始め、創作活動を続け、現在に至る。

〔活動内容〕

昭和五十年に県芸術文化祭に初出品以来、工芸連盟賞五回、彫塑の部金賞二回、銀賞三回、銅賞六回受賞。

昭和五十四年、木寿会(木彫の会)を結成、主宰して木寿展二回、個展を二回開催。

平成四年、翌五年、新日美展、本部長において会長賞連続受賞。

平成十三年、同第二十五回記念展では、新日美大賞受賞。

平成七年、「石もひと役実行委員会」を発足し代表を務める。「江川の石」に絵を描くことで

運動を展開中。市民のみならず、江津を訪れた著名人の方々にも趣旨の賛同を呼びかけ五十七人が参加。十周年を迎える。

平成九年、第二十回日本の象牙彫刻展入選以来七回入選。

作品は、江津市総合市民センターに「平成の恵良媛」立像を、桜江町水の国へ「川の殿」座像を寄贈。警視庁第二機動隊、江津警察署に「共生」立像、ブロンズ像



http://www.tokusen.info/kougai

お問合せ先
〒六九五〇〇一六
江津市嘉久志町イ一九〇二二
TEL・FAX
〇八五五(五二)五八五五

平成14年度 江工会 一般会計 決算書

収入の部				
科 目	本年度予算額	本年度決算額	増 △減	摘 要
繰 越 金	429,505	429,505	0	平成13年度 一般会計より
会 費・入 会 金	0	0	0	平成14年度は収入無し
寄 付 金	10,000	166,000	156,000	団体2件・個人3件
繰 入 金	850,000	500,225	△349,775	積立金より繰り入れ
雑 収 入	495	14	△481	預金利息
収入合計	1,290,000	1,095,744	△194,256	

支出の部				
科 目	本年度予算額	本年度決算額	差 引	摘 要
1. 事業費				
工業教育振興費	10,000	10,000	0	県高校工業教育研究会へ
会報発行費	200,000	200,000	0	江工会会報37号 印刷費
記念品費	30,000	27,300	2,700	卒業生へ卒業証書用丸筒
会館運営費助成	150,000	150,000	0	
2. 管理費				
通 信 費	30,000	29,700	300	案内状、会報発送、他
印 刷 費	10,000	0	10,000	
消 耗 品 費	5,000	0	5,000	
旅 費	450,000	428,714	21,286	支部訪問、他
会 議 費	230,000	129,340	100,660	支部総会 出席
慶 弔 費	50,000	18,779	31,221	祝電、弔電、他
雑 費	100,000	88,941	11,059	広告料、謝礼、餞別、他
3. 積立金	0	0	0	
4. 予備費	25,000	0	25,000	
支出合計	1,290,000	1,082,774	207,226	

収入総額 1,095,744円 - 支出額 1,082,774円 = 差引残額 12,970円

事務局だより

本部より室安会長・宮家事務局長・倉本事務局員が出席。

二月十六日 山口県支部総会
上田博祥支部長はじめ会員三十六名の出席(担当Ⅱ下関地区)、来賓として北九州地区から四名の出席。懇親会では、トラフグのフルコースと鱈酒に舌鼓を打ちながら、自己紹介が行われ和やかな総会でした。

二月二十三日 弥栄支部総会
岡本均支部長はじめ会員十三名の出席。
役員改選で新支部長に栗栖卓三

をそれぞれ寄贈。高門宮殿下には「郷愁」根付を献上。
〔今後の活動〕
江津にゆかりのある柿本人麻呂と依羅娘(恵良媛)の顕彰。親しみやすい二体の立像の製作を予定。

〔役 職〕

- 国際根付彫刻会会員
- 島根彫刻会監事
- 新日本美術協会会員
- 新日本美術協会島根支部委員
- 島根支部副支部長
- 木寿会主宰
- 石もひと役代表

氏（電気52年卒）が就任されました。懇親会では、地元名物の猪鍋を囲み、自己紹介が行われ和やかな総会でした。
 本部より室安会長・佐々木一郎事務局長・佐々木敏博事務局長が出席。

二月二十八日 新卒者入会式
 江工会入会者数百四名（平成十四年度卒業生）

濱浦重実氏（電気54年卒）より「卒業生諸君への応援歌」の演題で、社会の厳しき・資格取得の大切さを分かりやすく講話されました。
 砂田副会長、挨拶と講師紹介のため出席。



入会式の講話（濱浦重実氏）

四月一日 事務局の人事異動

高月 進氏（電気55年卒）

異動先 益田工業高等学校
 四月十四日 社会福祉施設慰問

演歌歌手山崎ていじさん（建築51年卒）益田市での歌謡ショー出演で里帰り。

浜田市国分町の「夕陽ヶ丘」を訪れ、入所者やデイサービス利用者者を前に懐メロやオリジナルの「桜川慕情」「夢の入口」な



山崎ていじさん 夕陽ヶ丘を慰問

ど十数曲を熱唱、一人一人と握手し励まし、喜ばれた。

四月二十二日 瑞穂町議会議員選

挙で江工会会員の当選者

日向洋行氏（工業化学38年卒）

四月二十三日 江津市役所支部総会

堀川哲朗支部長はじめ会員二十八名の出席、来賓として前牛尾市長や現市議会議員・母校の恩師で結成されている工友会の方

々など十三名の出席。

役員改選で新支部長に藤井進氏（工業化学41年卒）が就任されました。懇親会では、久しぶりの再会で昔話にも花が咲き、又、校歌や応援歌の大合唱もあり盛り上がった。

本部より森脇教頭・宮家事務局長・佐々木一郎事務局長・佐々木文人事務局長が出席。

四月二十七日 三隅町議会議員選

挙で江工会会員の当選者

杖田武秋氏（建築22年卒）

四月二十七日 浜田市議会議員選

挙で江工会会員の当選者

江口修吾氏（電気41年卒）

江角敏和氏（工業化学50年卒）

平成15年度 江工会 一般会計 予算書

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 △減	摘 要
【1】 収入の部				
1. 繰 越 金	12,970	429,505	△416,535	平成14年度繰越金 平成14年度卒業生104名 ×300円×12月
2. 会 費 ・ 入 会 金	374,400	0	374,400	
3. 寄 付 金	10,000	10,000	0	
4. 繰 入 金	850,000	850,000	0	積立会計より繰入
5. 雑 収 入	30	495	△465	預金利息、等
収入合計	1,247,400	1,290,000	△42,600	
【2】 支出の部				
1. 事 業 費				
工業教育振興費	10,000	10,000	0	県高校工業教育研究会へ
会 報 発 行 費	200,000	200,000	0	江工会会報38号 発行
記 念 品 費	30,000	30,000	0	卒業生へ卒業記念品
会館運営費助成	150,000	150,000	0	江工会館運営会計へ
2. 管 理 費				
通 信 費	30,000	30,000	0	案内状、会報発送、他
印 刷 費	10,000	10,000	0	年賀状印刷
消 耗 品 費	5,000	5,000	0	
旅 費	450,000	450,000	0	支部訪問、他
会 議 費	200,000	230,000	△30,000	本部総会・支部総会 出席
慶 弔 費	50,000	50,000	0	祝電、弔電、御祝、香典等
雑 費	100,000	100,000	0	広告料、謝礼、餞別、他
3. 積 立 金	0	0	0	
4. 予 備 費	12,400	25,000	△12,600	
支出合計	1,247,400	1,290,000	△42,600	

四月二十七日 明石市議会議員選

挙で江工会会員の当選者

山根金造氏（機械40年卒）

五月十六日 江工会館運営委員会

十四年度事業・決算報告、十五年

年度事業・予算審議。

築十八年を経過しており修繕費

の増大する中、在校生徒数の減

少で維持管理が厳しい状況であ

り、今後の対策が必要である。

五月十六日 江工会理事會・総会

十四年度事業・決算報告、十五

年度事業・予算審議。

城山一則氏から副会長辞退の申

しにより、新副会長に元江工

会事務局長の上手武光氏（工業

化学35年卒）が就任、すべての

議題が承認された。

城山氏には永きにわたりお世話
 になり有り難うございました。
 総会に邑智町・川本町・桜江町・

弥栄村からも出席、親交を深め
 ることができた。

五月二十二日 江工三学科の存続

陳情協力要請訪問

訪問先 浜田市・三隅町・旭町・

金城町・弥栄村

木下校長・上手副会長・宮家事

務長が訪問。

五月二十三日 江工三学科の存続

陳情協力要請訪問

訪問先 大田市・仁摩町・温泉

津町・邑智町・瑞穂町・

石見町・大和村・羽須

美村

木下校長・上手副会長・宮家事

務長が訪問。

五月二十八日 江工三学科の存続

陳情協力要請訪問

江工会総会懇親会 (2003. 5. 16)



訪問先 桜江町・川本町
小谷PTA会長・森脇教頭が訪
問。

六月七日 関西支部総会

橋目福司支部長はじめ会員五十
数名の出席、来賓として関東支
部から二名の出席。懇親会では、
アトラクションとして女性ゴス
ペルコーラスや河内音頭を鑑賞
し盛会でした。

本部より室安会長・佐々木文
事務局長が出席。

九月二日 江工三学科の存続陳情

島根県庁関係所管へ陳情
田中江津市長・室安江津市議会議
長(江工会会長)・佐々木江
工後援会会長(江津市商工会会
頭)・上手江工会副会長が陳情。

十月三十日 名簿調査開始

開校七十周年記念「江工会名簿」
作成・予約・広告掲載等の調査
カード発送開始。

十二月十二日 PM 関東支部訪問

「七十周年記念事業」について、
塚本支部長はじめ六名の方に記
念事業の説明とご協力をお願い
に室安会長・木下校長が訪問。

十二月十三日 AM 関西支部訪問

「七十周年記念事業」について、
橋目支部長はじめ五名の方に記
念事業の説明とご協力をお願い
に室安会長・木下校長が訪問。

十二月十三日 PM 山口県支部訪問

「七十周年記念事業」について、
上田支部長はじめ五名の方に記
念事業の説明とご協力をお願い
に室安会長・木下校長が訪問。

名簿購入予約を!

先の江工会理事會・総会におき
まして、前回(平成六年)の會員

名簿発行の反省や、長引く不況下
であることなど慎重審議のうえ、
開校七十周年の記念事業として
會員名簿の発行が決定され、名簿
出版業者の(株)サト(本社・姫路
市)と契約、昨年末より調査ハガ
キの発送・転送、購入予約注文の
受付、協賛広告の案内など共同し
て、八月の発行に向けて本格作業
に入っています。

名簿の発行には、調査、印刷、発
送など諸経費が必要となります。
會員の皆様のご協力(ご購入)によ
つて、この事業が成り立ちます。
なお今回は協賛広告の減少も見込
まれることから、新たに名簿作成
への賛助金のご協力もお願いして
います。内容は次の通りです。

開校70周年記念版
島根県立江津工業高等学校江工会名簿

収録者/学校開校以後の卒業生と
現・旧職員約13,000名
掲載項目/氏名(旧姓)・〒・現住所・☎・勤務先・☎
発行予定日/平成16年8月上旬
頒 価/4,000円(送料・消費税込)

調査ハガキの返信の未だの方、
その後住所等に変更のあった方、
早めにお知らせ下さい。

同窓会

平成十四年

九月八日
機械科三十五年卒(石松会)
奈良市(ホテル三笠温泉)に
て、十七名参加。
恩師松下滋夫先生、盆子原良友
先生ご出席。

九月二十五日

機械科二十九年卒(福美会)
益田市、大谷温泉(かじか荘)
にて十七名参加。
恩師盆子原良友先生、松井邦友
先生ご出席。

十月二十五日

機械科二十八年卒(紫旗会)
玉湯町、白石家にて十名参加。
恩師盆子原良友先生ご出席。

十一月二十三日

機械科三十四年卒(五九重会)
広島県宮島町(錦水別館)にて
二十三名参加。
恩師盆子原良友先生ご出席。
(平成十五年)

四月十二日

工業化学科三十五年卒(C35)
昭和35年卒 工業化学科同窓会



昭和35年卒 工業化学科同窓会

金城町旭温泉(ホテル川隅)に
て二十六名参加。
恩師小林茂正先生ご出席。
都治社中による石見神楽を披
露。翌日、母校訪問。卒業時よ
り変った校舎周辺を見学し玄関
前にて記念撮影後、散会。

四月十九日

建築科三十三年
京都市(ホテルルビノ京都堀)
にて二十八名参加。歌手山崎て
いじさんの特別出演もあり、四

計 報

謹んでお悔やみ申し上げます
旧職員
奥 信義(電気)
濱田 良正(建築)
原 龍雄(教頭・社会)
太田 誠(木工・機械)
山道 幸夫(事務長)
帯刀 一衛(英語)

会 員

- 瀬頭 延雄(機二十八年卒)
- 今井 正美(機二十六年卒)
- 渡辺 弘志(専機二十二年卒)
- 沖田 芳雄(窯二十九年卒)
- 長谷川政志(機二十五年卒)
- 村上 滋(工化四十一年卒)
- 嘉戸 孝之(木工十七年卒)
- 佐々木勝己(機三十二年卒)
- 小川 俊宏(機二十七年卒)
- 松本 栄一(木建十五年卒)
- 道免 利文(機二十六年卒)
- 天野 昌敏(機三十七年卒)
- 石原 豊司(建四十九年卒)
- 森本 良博(機四十四年卒)
- 梨木 聡寛(専機二十二年卒)
- 長谷川哲雄(機二十七年卒)
- 宮本 唯員(機二十五年卒)

年ぶりの旧交を温めた。
次回は平成十六年に山口市で開
催することを決定。
八月十三日
電気科四十一年卒
江津市(会館吾妻)にて十八名
参加。
恩師森脇健臣先生、真庭正安先
生ご出席。三十七年ぶりの顔々
で、感動のひとつを過ぎました。
十月十六日
機械科二十六年卒(無二会)
箱根市(綾香)にて八名参加。
恩師盆子原良友先生ご出席。
十一月一日
機械科二十八年卒(紫旗会)
箕面市(箕面観光ホテル)にて
十二名参加。
恩師盆子原良友先生ご出席。
十一月六日
機械科三十一年卒(元機會)
宝塚市(宝塚ホテル)にて
二十一名参加。
恩師盆子原良友先生ご出席。

編集後記

多忙な折、ころよくご寄稿い
ただきましたこと厚くお礼申し上
げます。お蔭で第三十八号を発行
することができました。
今回は、特に開校七十周年記念
や中国O4総体の取り組みについ
て取り上げました。又一面の写真
は、昨年九月開通した山陰道、江
津道路の一部です。江津と浜田を
所要時間十数分で結びます。観光
はもとより石央地区の経済の活
性が期待されます。
今後、ご意見、情報等ござい
ましたら事務局へご連絡をお願い
致します。
FAX〇八五五(五二)二二六四

江工学生会報

発行所
江 工 会
島根県江津市江津町1477
島根県立江津工業高校内
電話(代) 0855-52-2120
郵便番号 〒 695-0011

開校七十周年を迎えて

会長室 安 延 博

(昭和31年建卒)



会員の皆様方、
新年明けましてお
めでとうございま
す。健やかに新春
をお迎えのことと、
心よりお慶び申し上げ
ます。

昨年、ご承知の通り中東地域
において紛争が続き、国内におい
ても思いもかけない出来事が起
り、更に長引く景気の低迷の中
で経済社会構造の変化などの影響
を受け、国の財政はもとより各事
業所におかれましても、厳しい年
ではなかつたかと思われま
す。

江津工業高等学校は、昭和九年
に「島根県立江津工芸学校」(木
工建築科のみ設置)として開校、
以来幾多の変遷を経て、今年開校
七十周年を迎える事になりました。
これも、江工会はもとより、P T
A、江工後援会、体育文化振興会
野球後援会等各外郭団体の、長
年にわたるご支援ご協力のお陰と、
深く感謝いたしております。

開校七十周年にあたり、開校記
念実行委員会に於いて、記念事業
(別記)を計画いたしました。
趣旨をご理解いただきまして、ご
賛同を賜りますよう、お願い申し

上げます。

昨年、県立学校再編成基本計画
(平成十一年策定)の前倒し再評
価が示された為、急遽校区内の市
町村長、議会議長の署名をいた
だき、県知事、教育長、関係所管
に対して本校三学科の必要性、西
部地区の工業高校として、地域産
業に貢献できる人材を育成する本
校の学級減は回避された旨の、陳
情活動をいたしました。

ホットニュースといたしまして
は、山陰自動車道の一部「江津自
動車道路」が昨年九月に開通して、
江津市もようやく全国の高速自動
車道のネットワークに仲間入りす
ることができました。利便性の向
上により地域の活性化が期待され
ます。

江工会で企画した「社会福祉施
設の慰問」には江工学生会員の演
歌「山崎でいじ」さん(昭和51
年建卒)に「一昨年に続きご協
力いただきました。四月十四日、浜
田市国分町の「夕陽ヶ丘」を訪れ、
入所されている方やデイサービス
などを利用されている方を前に懐メ
ロなどを熱唱され、大変喜ばれま
した。山崎さんは県内でも益田歌謡
ショー(四月)、浜田歌謡ショー

(六月)、弥栄村夏祭(八月)、
邑智町産業祭(十一月)に出演さ
れました。

また、同じく江工学生会員で俳優
の「山田アキラ」さん(昭和60年
機械卒)もTBS系テレビの西村
京太郎サスペンス「十津川警部
シリーズ」において山下刑事役でレ
ギュラー出演されています。

それぞれが今後益々活躍され
ることを期待いたします。

本年は、全国的に平成の大合併
が進む中、江津市に於いても隣町
の邑智郡桜江町との合併が十月一
日と目前に迫っています。八月に
は、江津市市制五十周年式典が挙
行されます。なお、十月八日は表
題の通り江工の七十周年記念式典
もあり正に節目の年であります。

終わりに、会員の皆様方におか
れましては、景気低迷が長引く大
変厳しい年明けですが、校訓に倣
い「質実剛健・不撓不屈」の精神
で、益々活躍される事を祈念し、
ご健勝とご多幸をお祈り申し上げ
ます。今後とも、江工会活動にご
理解とご協力を賜りますようお願い
申し上げます。ご挨拶といたします。

新春のごあいさつ

校長 木下 英樹



一、あいさつ
会員の皆さまに
は新春をお元気に
お迎えになられた
こととお慶び申し
上げます。

さて、本年十月八日に開校七十
周年記念式典を挙行致します。記
念講演の講師は藤井浩史氏(建築
科二十九年卒業、まさみ建築事務
所社長)をお願いすることになり
ました。

念講演の講師は藤井浩史氏(建築
科二十九年卒業、まさみ建築事務
所社長)をお願いすることになり
ました。

今回の記念事業については、当
初規模を縮小して質素に行うこと
が総会で議決されたことは重々承
知しております。

しかし、少子化傾向が続き、歴
史を誇る本校ですら、現在の三学



山陰道 江津道路(江津~浜田)開通 <江津市二宮町から星高山を望む>

科三学級体制の存続が危ぶまれて
おります。このような危機的状況
下において、近隣の学校に劣らず
記念事業を行うことは、今一度開
校当時の意気を思い起こし学校の
活性化に繋がる有意義なことだと
考えております。

最近の教育の諸問題も、決して
楽観できるものではありません。
教育界にも競争原理が導入され、
本校でも「西部地区の工業高校の
拠点校として地域産業に貢献でき
る人材の育成」を教育目標にかか
り、いかに特色ある学校づくりを
するかが、生き残りをかけた当面

の課題となっております。
 会員の皆様には、過去に江工会館建設、ポート部艇庫建設と度重なる募金依頼にご協力いただき、誠に有り難く感謝申し上げます。
 記念事業として、前述の記念式典、講演会のほかに、記念誌刊行、記念図書購入、教育環境整備として①庭園づくり(中校舎北側テニスコート跡地)②初代校長鎌田武先生胸像周辺整備③校庭整備④西校庭北側にフェンス設置⑤体育館舞台幕改修(一文字幕、袖幕、サイド幕)等を予定しています。今回もこのような形でご依頼申し上げることは、経済不況が長びく中、誠に恐縮とは存じますが皆様の心温まる浄財を宜しくお願い申し上げます。

二、部活動の報告

本校では、「学問や知識は教養を、部活動は人格を高める」とその意義をとらえ、部活動の振興に努力しています。主な成績を皆様に紹介します。

①江津道路開通記念イベント実行委員会の計らいで、自動車部が中心になり「エコカーレース」を企画しました。江津IC、浜田東IC間十六、二kmのコースを省エネに徹した手作りの車の燃費を競う大会です。西日本各地区の精鋭を集め盛大に開催されました。本校は第三位に入賞。②ポート部は「男子クオッドプル」で県総体優勝、中国大会優勝、全国総体、国体に出場。又、新チーム同種目が全国選抜に出場します。③弓道部「男子団体」県総体第二位、中国大会第二位④情報電子部は県高校生ロボット相撲大会「ラジコン型」で優勝。⑤写真部は県高校写真展で桐田・岡田君が奨励賞。他の部は紙

面の都合上紹介できませんが、それぞれ一生懸命頑張っています。若者がはつらつと熱心に取り組み姿は誠に清々しく、インセンティブ(刺激的)な学校づくりの源となっております。

就任のごあいさつ



会員の皆様にはますますご清栄の事と拝察申し上げます。

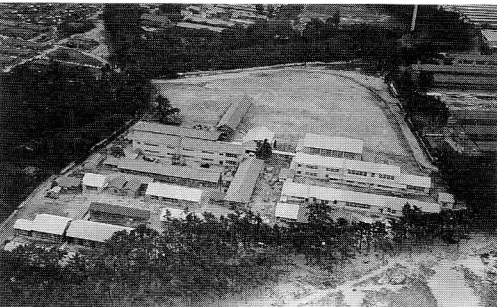
さて、毎年五月十六日の開校記念日に併せて、開催されております江工会総会におきまして、副会長の城山一則氏(昭和三十七年機械科卒)が、一身上の都合で平成十四年度をもって退任されました。それに伴う人事により、後任に不肖私が任命され、その大任を仰せつかることに成りました。

今後とも母校に対する一層のご支援をいただきますようお願い申し上げます。
 最後にになりましたが、会員の皆様の益々の活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

副会長 上手 武光
 (昭和35年工化卒)

した。それにしても生徒数が大きく変化していることに、改めて時代の流れと言うものを感じさせられました。
 在職中を、いま振り返ってみると、色々な事が思い出されます。校舎の増改築、科の変遷、グラウンドの整備、野球部の甲子園出場、開校五十周年記念事業、江工会館の建設、校訓碑の設置、艇庫の建設、等々数え上げれば切りがありません。

中でも、私にとりまして忘れられないのは、昭和四十五年に野球部が、春・夏連続して甲子園に



江津工業高等学校全景 (昭和 37 年 5 月)

開校七十周年記念事業について

記念事業実行委員会 金 田 健 男

出場したことであります。野球部顧問の一人として選手に同行し、貴重な体験もさせて貰いました。三十数年経った今も当時のことをはつきりと覚えております。夏の大会で初戦を突破し、あの甲子園球場に「旭光燦たる星高山と…」の校歌が流れた時、感動のあまり手足が震えてしまいました。
 また、平成四年から七年間、江工会事務局長を拝命して、各地の支部総会に出席させていただきました。その節は皆様方に大変お世話になりました。江工会員の活躍振りを目の当たりにして、本当に心強く思いました。いま高校生の就職率が低迷しておりますが、江工では

江工会員の皆様にはますます、ご活躍のことと、お喜び申しあげます。常日頃より後輩のためにいろいろお心遣いいただき誠にありがとうございます。

さて江津工業高校は昭和九年の島根県立江津工芸学校開校以来、平成十六年をもって七十の齢を数えます。

この記念すべき七十周年を祝うべく、江工会および学校で、どのような形でお祝いを行うか、協議して参りました。ここに概要を掲げます。今から楽しみにしておいでいただきたいと存じます。

◎七十周年記念事業概要

悠々として続いたよき伝統の継承と新しい気風の確立に向かって、卒業生・生徒・全教職員が一致して努力する決意を新たにします。

毎年100パーセント近い、高率を維持していると聞き、これは偏に先輩諸氏の日頃からの努力が実を結んでいるものと、私は思います。
 本年は、母校が開校されて七十周年の、大きな節目の年に当たります。十月に予定されている記念事業等に向けて、その計画が着々と練られております。折から江津市と桜江町の合併とも重なり、今年江工会にとりましても、色々な意味で多忙な年になりそうです。
 末筆ではございますが、皆様方の益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。ご挨拶に代えさせていただきます。

○テーマ
 「回顧、さらなる飛躍をめざして」
 ○事業内容等
 一、記念事業関係
 ・ 記念式典、記念講演会
 講 師 藤井浩史氏
 (建築科29年3月卒)

- ・ 文化行事 (文化祭他)
 - ・ 体育行事 (体育祭、レガッタ)
 - ・ 記念PTA総会 (講演会他)
 - ・ 記念誌刊行物等
 - ・ 記念刊行 (詳細は後述)
 - ・ 記念図書購入
 - ・ 環境整備 (詳細は後述)
 - 三、江 工 会
 - ・ 卒業生名簿発行
- 以上のような事業を計画いたしております。
 このような内容で江工会員の方々とともに、古希の祝いをしたものと考えております。

前述しました二つの件についてさらに詳細を説明致します。

○七十周年記念誌について

記念誌は区切りの10年毎に刊行されてきました。本校の歴史を残す最も貴重な資料です。30、40、50周年記念誌とは編集方針を少し変更したのが60周年記念誌でした。それは学科の変遷、教育活動を中心に開校以来の歴史をまとめたものです。今回はそれ以後の十年誌という形で、60周年記念誌の続きの形で編集する予定です。



支部運営に携わって



関東支部長 塚本 清 (昭和40年建卒)

江工会員の皆さんお元気でしょうか。平成十六年度は、江津工業高等学校が開校七十周年を迎えます。江工会本部では色々な記念事業が企画されています。会員の皆さんにおかれましては積極的に参加しましょう。

私事ですが、学校を卒業して三十八年が経ち、この間、先輩に支えられ関東支部の運営に携わって来ました。昨年、前支部長森山征夫氏(昭和37年機卒)から支部長の役を受け継ぎ、役員・会員の支援を受け、早一年になりました。関東支部は、「会員の情報交換の場と位置付け支部活動の多様化と総会の活性化を図る」を方針に活動しています。色々なイベントを企画し(ゴルフ・釣り・新会員の歓迎会・連絡

○環境整備について

メインの事業は中庭の整備です。場所は、古くは機械科実習棟、さらには北校舎(木造平屋)あたり、お若いところで中学校舎と建築科実習棟の間(テニスコート)です。ゆとりとるおいを醸成する場として野外集会場、花壇、植樹等を計画しております。内容については生徒から計画案を募集しました。星高山、江川等をイメージした広場になる予定です。皆様のご協力をよろしくお願い致します。



支部だより

委員との新年会・支部会員名簿の作成、整備」と会員の皆さんに取って身近な会(支部)として活動してまいります。十六年度総会(二月十五日)のアトラクションは、母校卒業生でありプロ歌手「山崎ていじ」さんをお招きし会員の親



平成15年 関東支部総会 (2003. 2. 15)

睦を図る予定です。

益々、江工会の各支部が活性化し、相互の活動交流会がもたれることを期待しています。

開校70周年に思うこと



関西支部長 橋目 福司 (昭和39年建卒)

江工会会員の皆様におかれましては、新春を元気に迎えられることと、お慶び申し上げます。私が卒業した昭和三十九年から早四十年たったのかと、感慨深い気持ちでいっぱいです。この四十年、出会った人から、『この卒業ですか』と聞かれたら、胸を張って『島根県の江津工業高校です』と答えてきました。これも諸先輩方が各方面で「質実剛健、不撓不屈」の精神のもと、築かれた実績と信頼の賜と感謝しております。

関西支部も活動を本格的に開始してから、今年で四十八年を迎えます。昨年の支部活動は、六月七日に支部総会を江工会本部より、室安会長、佐々木文人事務局長、並びに関東支部から塚本支部長、勝田副支部長にもご出席頂き、総勢五十余名で盛大に開催致しました。新支部役員として島田重明(A45卒)、川口幸則(A45卒)君の二名に就任して頂きました。今後、支部運営におおにご協力して頂き、充実した活動を展開していきたいと考えております。

総会でのアトラクションは『河内音頭』山中一平氏を招待し、独特の替え歌(紙面では披露できません)を期待しています。



平成 15 年 関西支部総会 (2003. 6. 7)

支部活動



山口県支部長 上田 博祥 (昭和33年建卒)

江工会会員の皆様には、新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

去年は、イラク、年金、リストラ等、国内外で思いもかけない出来事が起こり、それがそのまま、私達の生活の周辺まで、影響を及ぼして来た一年ではなかったかと思えます。

この様な時こそ、会員同士の連携を密にしてこの不況を乗り切る事が重要な事と思えます。

支部総会も「異業種交流」の場として各方面の情報を交換し、それ等を生かして更に活動を広げたいと思えます。

しかし、ここ数年新会員の方々の出席が少ない事が悩みの一つです。是非とも新卒の方は、一度出席して見て下さい。

第四十二回山口県支部総会は、二月十六日、本部より木下校長先生、佐々木一郎事務局長をお招きして下関市で開催いたしました。又、この会に九州支部より大田五美支部長ほか三名の参加がありました。

第一部では、支部活動報告、決算予算の審議、承認等を行ない、あわせて学校、事務局の現況報告をしていただきました。第二部の懇親会では、下関地区会員のご尽力により、本場の「トラフグ料理」を満喫しました。それは、下関市南風泊りからの「活きたトラフグ、白」を伝統的なフグ

せん)など本場の生の歌に出席者一同、聞き入っておられました。親睦ゴルフコンペも丸山(永久)幹事のもとで、二回開催致しました。コンペの会員数も五十名を越え支部の重要な活動となつております。又、年末恒例の旧役員諸先輩と現支部役員との親睦会では、支部の将来に対する忌憚のないご意見を頂くなど、有意義な親睦会となりました。

最後になりましたが、会員の皆様の益々のご活躍とご健勝を祈念いたしますとともに、関西支部の活性化に、我々支部役員一同一層の努力をいたしますので、宜しくご指導のほどお願い致します。

開校七十周年記念事業が滞りなく完遂できますことを、お祈り申し上げます。